

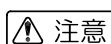


ハニカム・サーモスクリーン取付け・取扱い説明書

この度は、ハニカム・サーモスクリーンを、ご購入いただき誠にありがとうございます。
本製品は、正しくご使用いただければ、長い間問題なくお使いいただけるように設計されています。
お取付け前に、この説明書を必ず最後までお読み下さい。また本説明書はいつでも読める場所に大切に保管してください。

注意 本製品の施工については必ず説明書に従ってください。

安全のために必ずお守り下さい



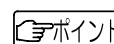
注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。



お願い 「禁止」を示しています。

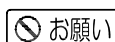


お願い 「必ず行なっていただく事」を示しています。



ポイント 「作業上」「操作上」の動所を示しています。

取扱い上のご注意

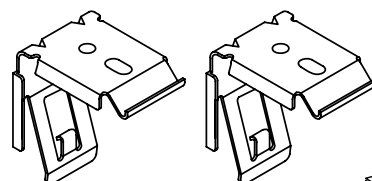
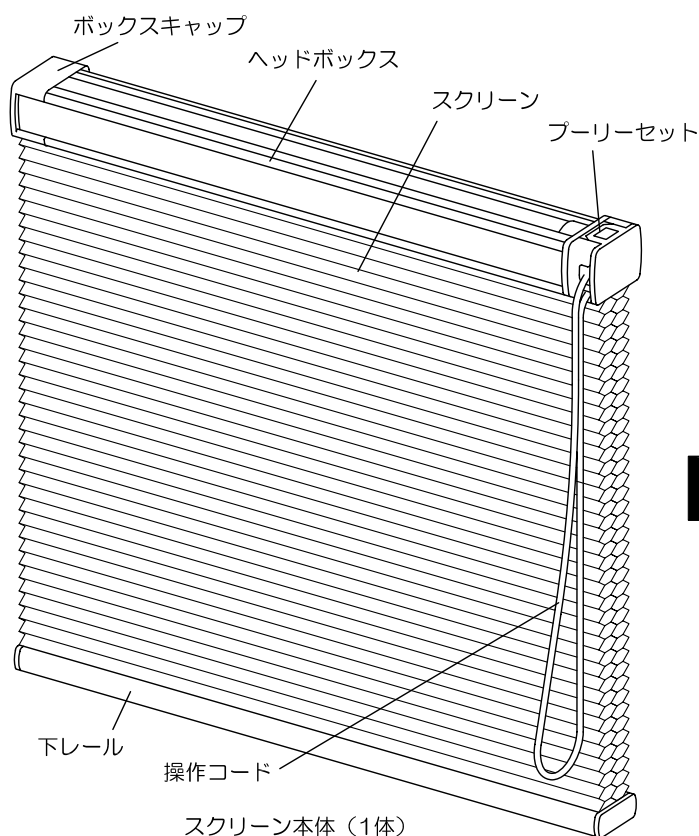


- スクリーンには、たばこの火などの火気は絶対に近づけないでください。
- スクリーンに寄りかかったり、無理に引っ張ったりしないでください。スクリーンの外れや落下、転落事故などにつながり、けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
- 無理な開閉や乱暴な取扱いをすると、スクリーンを破損するばかりではなく思わぬけがの原因となります。開閉操作はゆっくり行ってください。

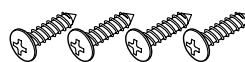


- スクリーンの操作コードでお子様や事故にあわないようにご注意ください。
- 開閉操作を行なう際は、急な脱落などによりケガをしないように注意してください。

製品各部の名称と付属品の確認



ブラケット (2~4個)



ブラケット取付ネジ (4~8本)

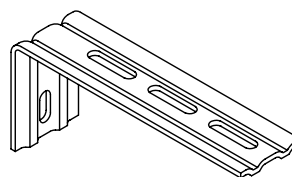
※ネジは、ブラケット1個につき1本使用します。

※ネジは、余る場合があります。



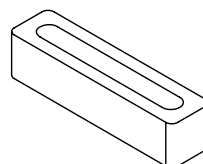
ブラケット仮止め用両面テープ
(ブラケットと同数)

オプション



- 延長取付け用ブラケット (1セット/2個)

カーテンレール等の障害物を避ける場合に使用します。
窓枠から室内側に最大70ミリ張り出して取付けることができます。
ブラケットと同数必要となります。



- スペーサー (1セット/2個)
- 配線コードをよける時など、ブラケットを少し浮かせて (10ミリ) 取付ける場合に使用します。

取付け手順

1. ブラケットの取付け

※ 取付けの前に、以下の「ブラケット取付け位置」、「参考納まり図」をご覧ください、取付け方法（正面付けまたは天付け）と取付け位置を確認してください。

① 付属の仮固定用両面テープをブラケットの取付け面に貼り付けます。

② 両面テープのハクリ紙を剥がして、ブラケットを正しい位置に仮固定します。

※ ブラケットの数が3個以上の場合は、各ブラケットの間隔が均等になるようにしてください。

※ 正面付けの場合は上下に、天付けの場合は前後にそれぞれのブラケットの位置がずれないようにしてください。

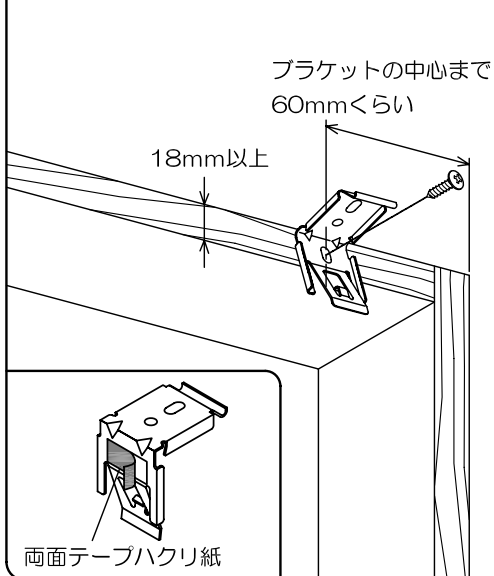
③ 付属のブラケット取付ネジを使用して、ブラケットを取付けます。

ポイント

- 本製品付属の取付ネジは、木部取付け用です。アルミにはテクスビス、石膏ボードにはアンカーボルト、コンクリートにはコンクリートビス等、取付け面の材質に合わせた取付け具をご用意いただく必要があります。
- 木部取付けの際は、キリ等で取付け面に前もって浅めの穴をあけてからネジ止めすると、木部の割れを防ぐことができます。

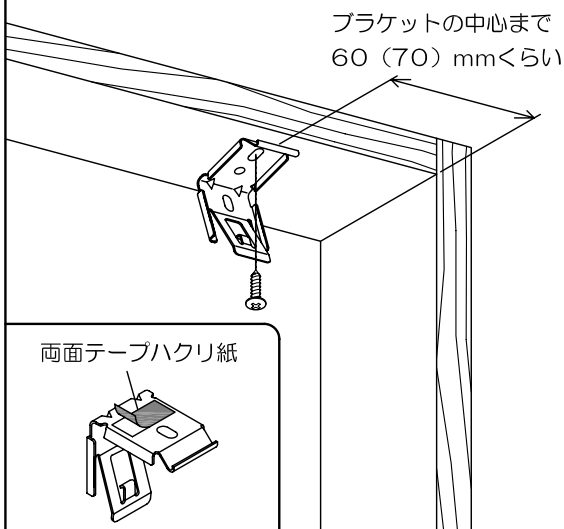
■ブラケット取付け位置

●正面付けの場合

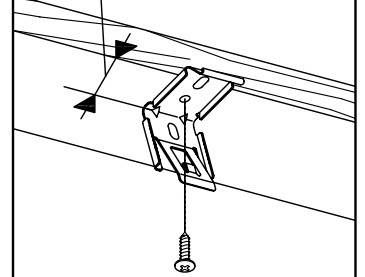


●天付けの場合

() 内は断熱レール仕様の場合

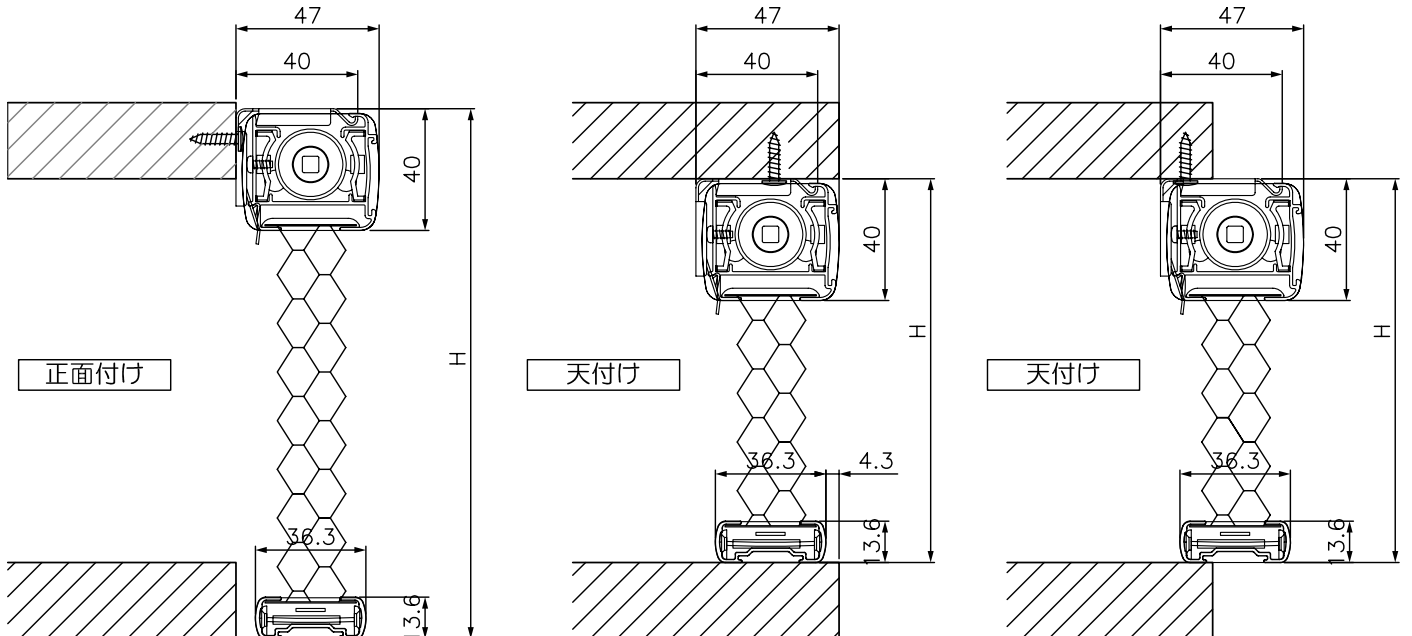


21mm以上



※浅い位置に取付ける際は、
木部の割れに特に注意し
てください。

■参考納まり図（縦断面） 単位：mm

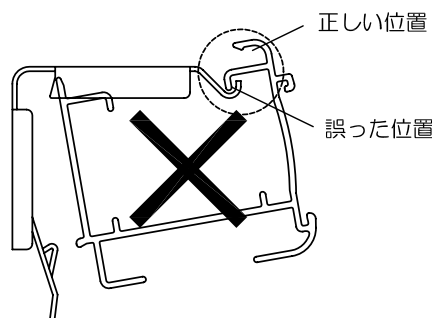
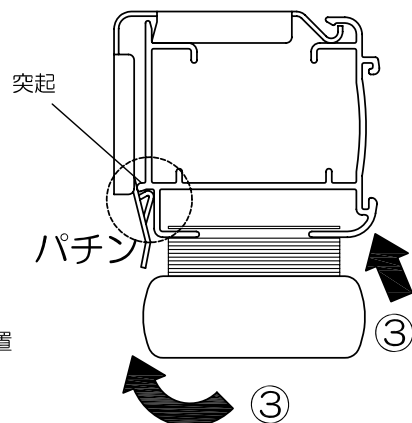
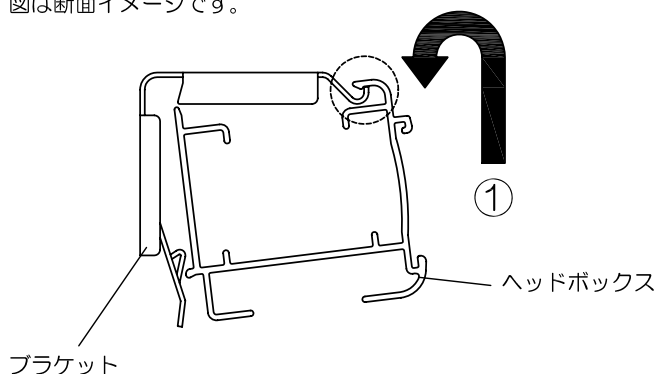
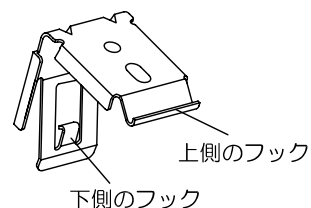


2. スクリーン本体の取付け

⚠ 注意

- ・スクリーン本体をブラケットに正しく取付けないまま、スクリーン本体から手を離さないでください。正しく取付いた状態は、右下の図で確認してください。
- ・取付け、取外しの際は本体をしっかりと支え、急な脱落にご注意ください。

- ①ヘッドボックスの上部をブラケットの上側のフックに引っ掛けます。
 - ②本体の取付け位置を確認して下さい。
 - ③スクリーン本体を“パチン”と音がするまで押し上げてください。
 - ④ヘッドボックス背面の突起がブラケット下側のフックにきちんと引っかかっている事を確認して下さい。
- ※ 図は断面イメージです。



※ 取付け方法に正面付けと天付けでの違いはありません。

📌ポイント

- 取付けがスムーズに行えない時は、ブラケット上側のフックが誤った位置に入っていないか確認してください。

スクリーン本体の取外し方法

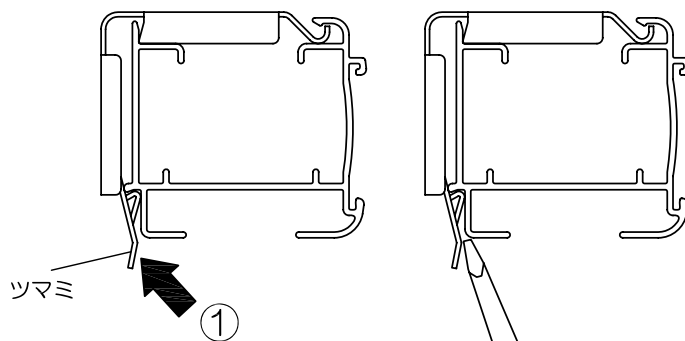
⚠ 注意

- ・スクリーン本体をブラケットから外す際には、脱落に十分注意してください。

- ①ブラケット下側のフックからヘッドボックス背面の突起をはずす為に、ツマミを押してください。

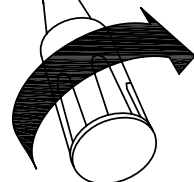
📌ポイント

- 外れ難い場合には、ツマミとヘッドボックスの間をマイナスドライバーでひねると軽く外れます。



吊元の交換

- 吊元交換は、新たなプーリーセットをボックスキャップと交換する事で行えます。
- ヘッドボックス背面の製品シールの寸法をお確かめのうえ、室内側から見て吊元にしたい方のプーリーセットを別途手配してください。
(交換の要領は、新しいプーリーセットに添付のマニュアルに従ってください。)



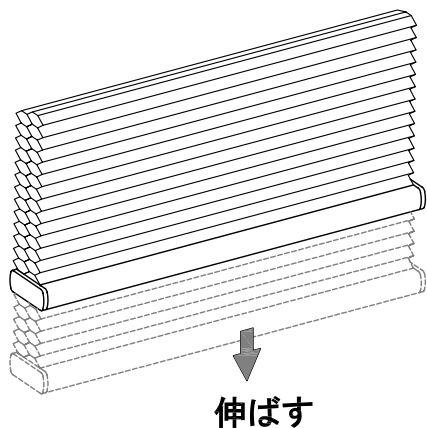
操作方法と操作上のご注意

●スクリーンの開閉は、輪になった操作コードを引いて行います。また開閉はコードから手を放した位置で止まります。

🕒 お願い

●開閉は以下の要領で行ってください。

- ・上側の操作コードを引くとスクリーンが上昇します。
- ・下側の操作コードを引くとスクリーンが下降します。
- ・操作中に操作コードの継ぎ目が少し引っ掛かる場合があります。その場合は操作コードを一旦反対の方向に少し戻してから再度操作を行なってください。
- ・操作コードは手前に傾けて操作してください。
- ・操作はゆっくり行なってください。

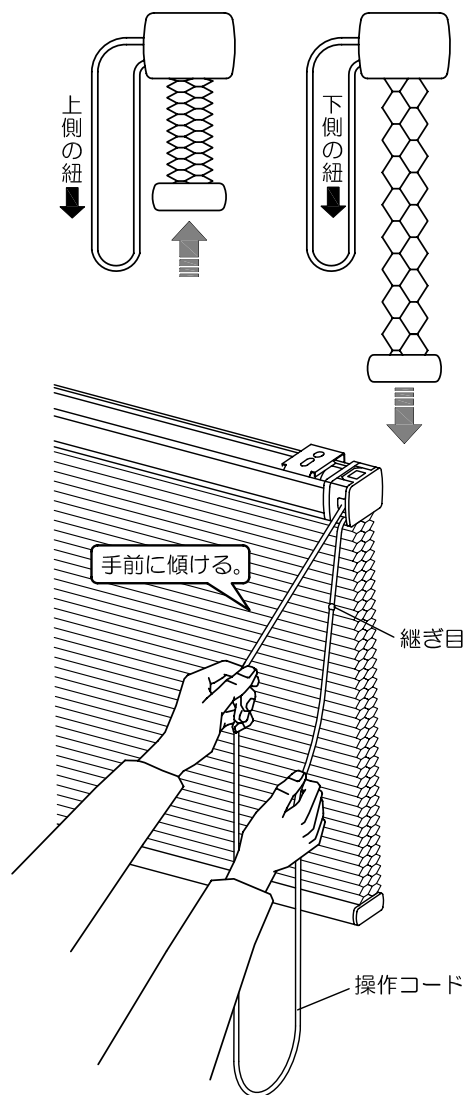


※スクリーンは閉じた状態の癖がついているため、完全に開ききらない場合があります。

その場合は、下レールを持ってスクリーンを伸ばして下さい。ご使用されるうちに適切な状態になります。

🚫 お願い

- スクリーンの破損や落下の原因となりますので下記には、十分注意してください。
- ・本製品は、スクリーンを下まで降ろすと内蔵されたストッパーにより操作が止まるようになっています。
- ストッパーが効いた状態で、操作コードを同じ方向に無理に引くと、ストッパーが破損したり、製品が落下する恐れがあります。
- ・無理な操作や急な操作はしないでください。



お手入れ方法

- ハニカム・サーモスクリーンの生地はポリエステルの不織布ですので、お手入れが簡単です。
- スクリーンについたほこりはハタキ等で定期的に払っていただくことをお勧めします。
- ほとんどの染みは、水または水で薄めた中性洗剤で湿らせたスポンジで落とすことができます。

🚫 お願い

- たわし、金属ブラシ等で、スクリーン部分・アルミ部分をこすらないでください。破損やキズの原因になります。
- 丸洗いをする際、洗濯機を使用することは避けてください。製品の破損の原因となります。



■製品に関するお問い合わせ先

セイキ総業株式会社 埼玉県所沢市東所沢5-10-3 〒359-0021 Tel 04-2951-7221 Fax 04-2951-7220